

# 畜産 FAX 情報 第5号

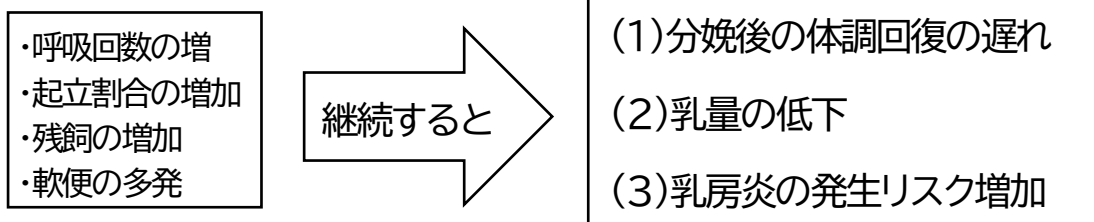
令和8年7月15日

発行:ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

## 急な暑さへの対策

いよいよ夏の暑さが本番を迎えます。今年は牛がまだ暑さに慣れていないため、例年以上に早めで丁寧な暑熱対策が必要です。牛の様子をこまめに観察し、飲水量の確保、換気、送風、飼槽水槽の清掃など、基本管理を徹底して、暑さによる影響を最小限に抑えましょう。

### 1. 急な暑さで見られる牛の変化



「いつもと違う」を早めに見つけることが暑熱対策の第一歩です。

### 2. 暑熱ストレスを防ぐ 4 つの初動対策

#### ①サイレージを丁寧に取り出す

スタックサイロやバンカーサイロでは、取り出し口の断面に空気が入り込まないように、できるだけ表面を平らに削り落とします。二次発酵防ぎ、新鮮で食べ込みの良いエサを給与します。

#### ②固形塩は早めに交換・補充し、重曹給与の確認

固形塩は、専用ケースの高さを目安に、早めの交換、補充を行います。固形塩が入れ物の高さになる前に行います。重曹は、フリーチョイスでも給与し、採食量や反芻の低下に備えます。重曹は唾液のはたらきを助け、ルーメン内の pH を安定させる役割があります。重曹の減りが極端に早い場合は、エサの内容や給与方法の見直しが必要です。

#### ③水槽掃除の徹底

暑熱期は、「きれいな水」と「新鮮なエサ」が採食量の維持に直結します。水槽のぬめり、飼槽残飼、変敗臭を確認し、いつもより一時間かけて清掃を行います。

#### ④昼間だけではなく暑い日は夜間にもファンをフル稼働

人と牛では、暑さの感じ方が異なります。昼間の暑さを次の日に持ち超さないよう、暑い日は夜間もファンを稼働し、牛体をしっかり冷やします。夜間の送風は、翌日の採食量低下を防ぐ重要な対策です。